

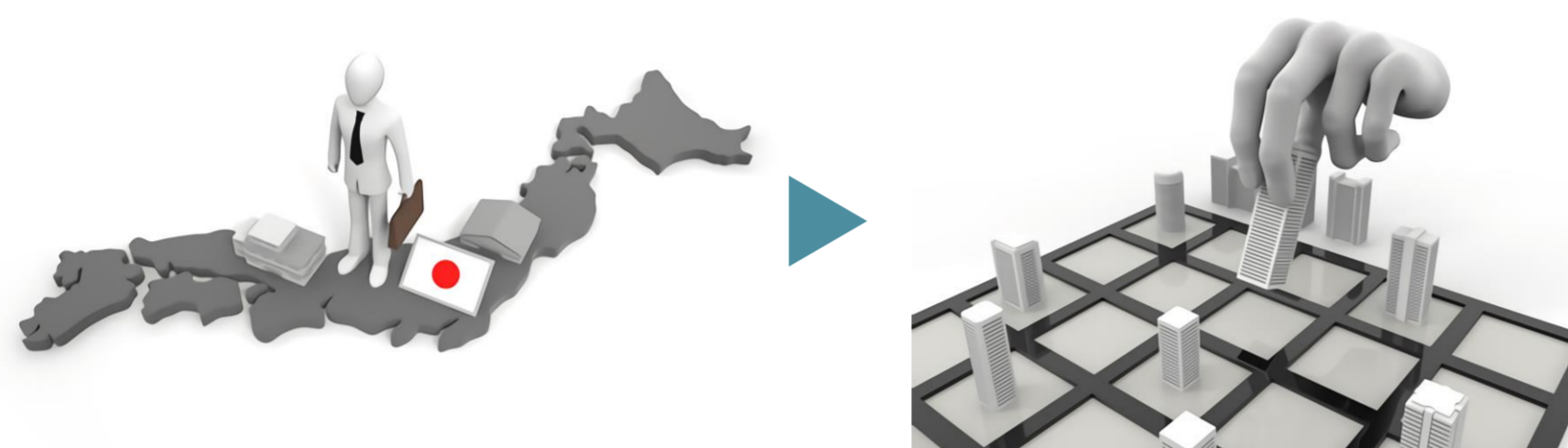


# 出生コーホートを用いた 日本全国の位置情報と所得属性付き仮想個票の合成

## 研究概要

目的：意思決定者支援のためのリアルな社会シミュレーション

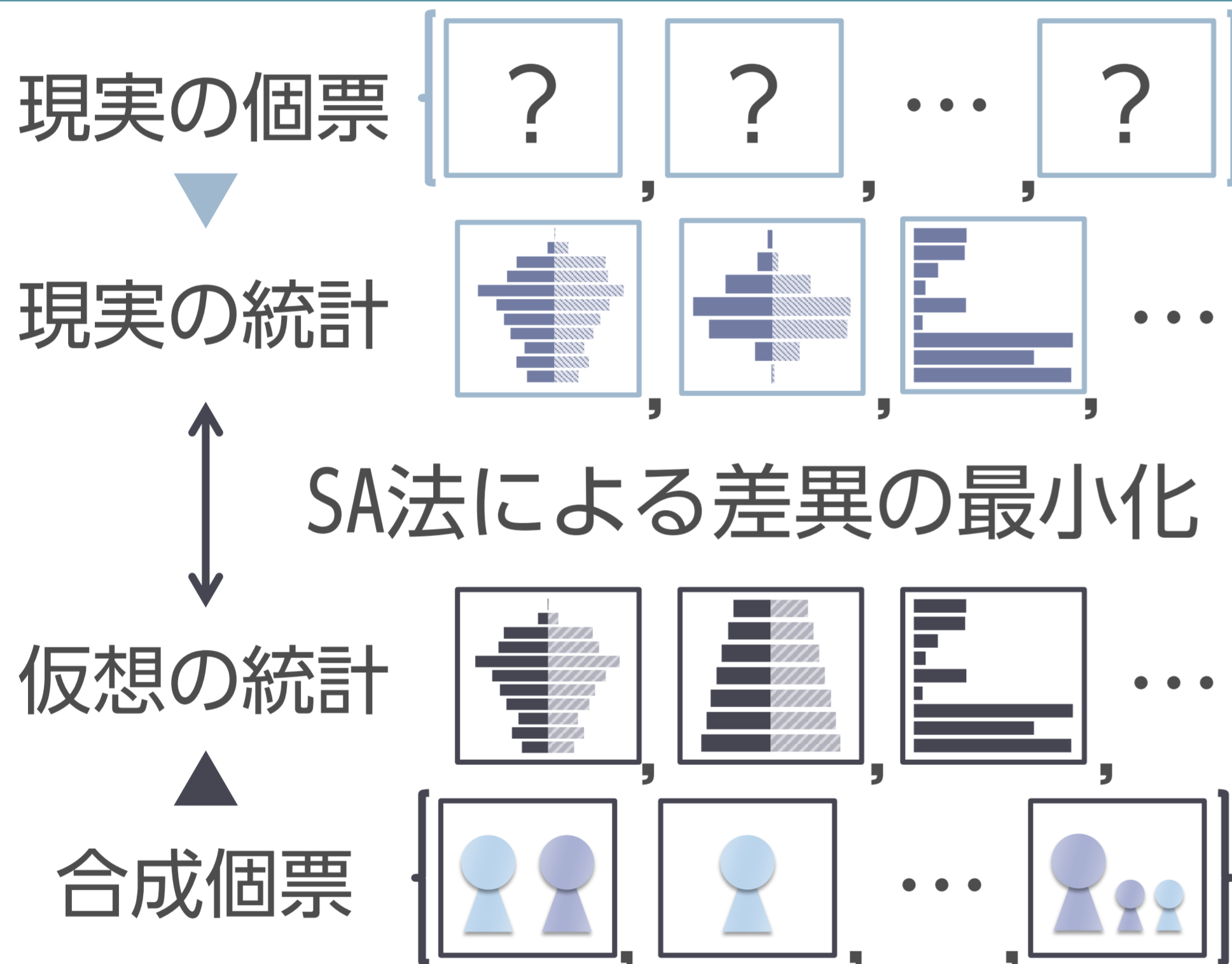
モデルに組み込む個人の属性  
現実のデータ：利活用困難



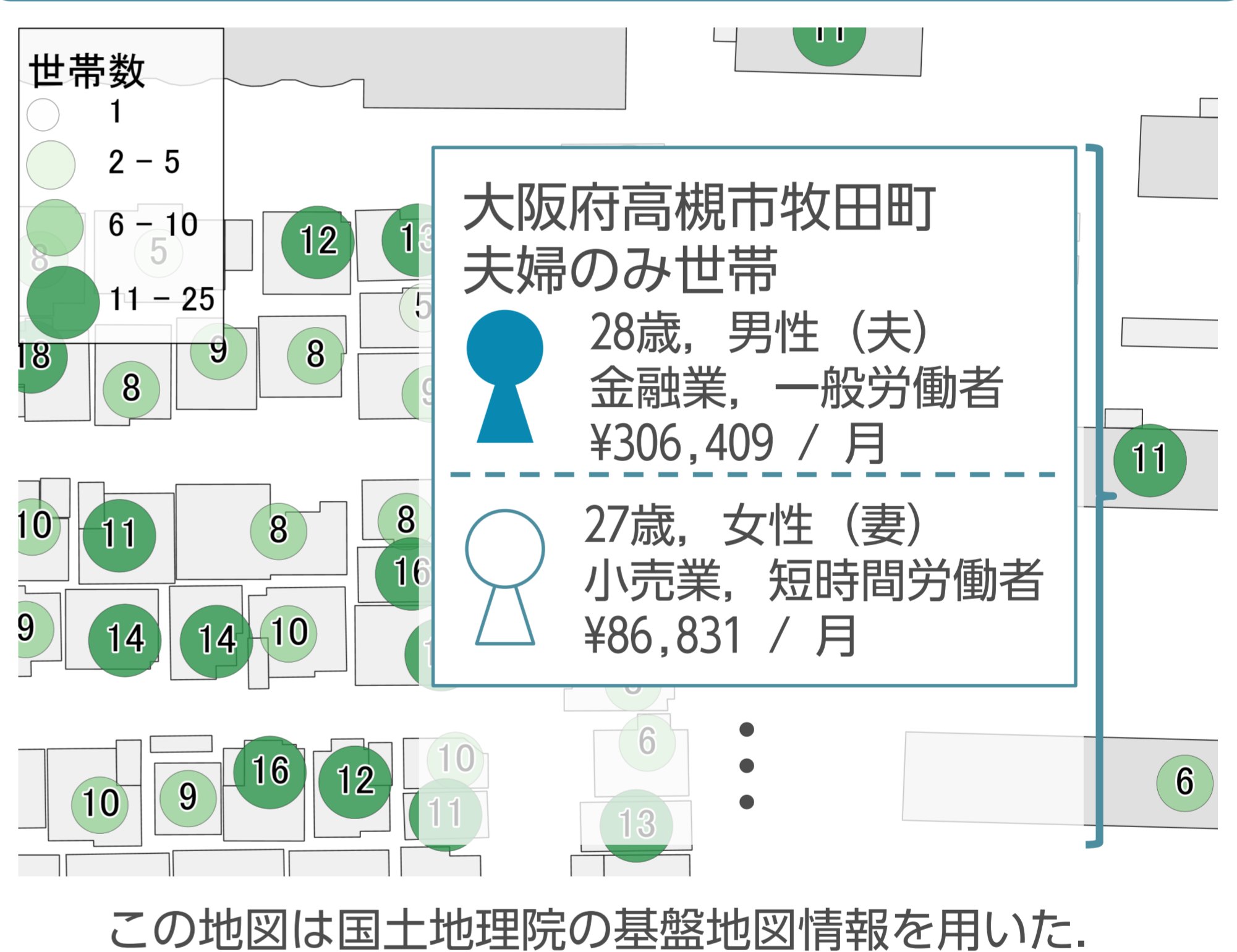
可能な限り忠実にモデル化

同じ統計的特徴を持つ個人の属性を  
合成する手法の開発

## 仮想個票の合成手法

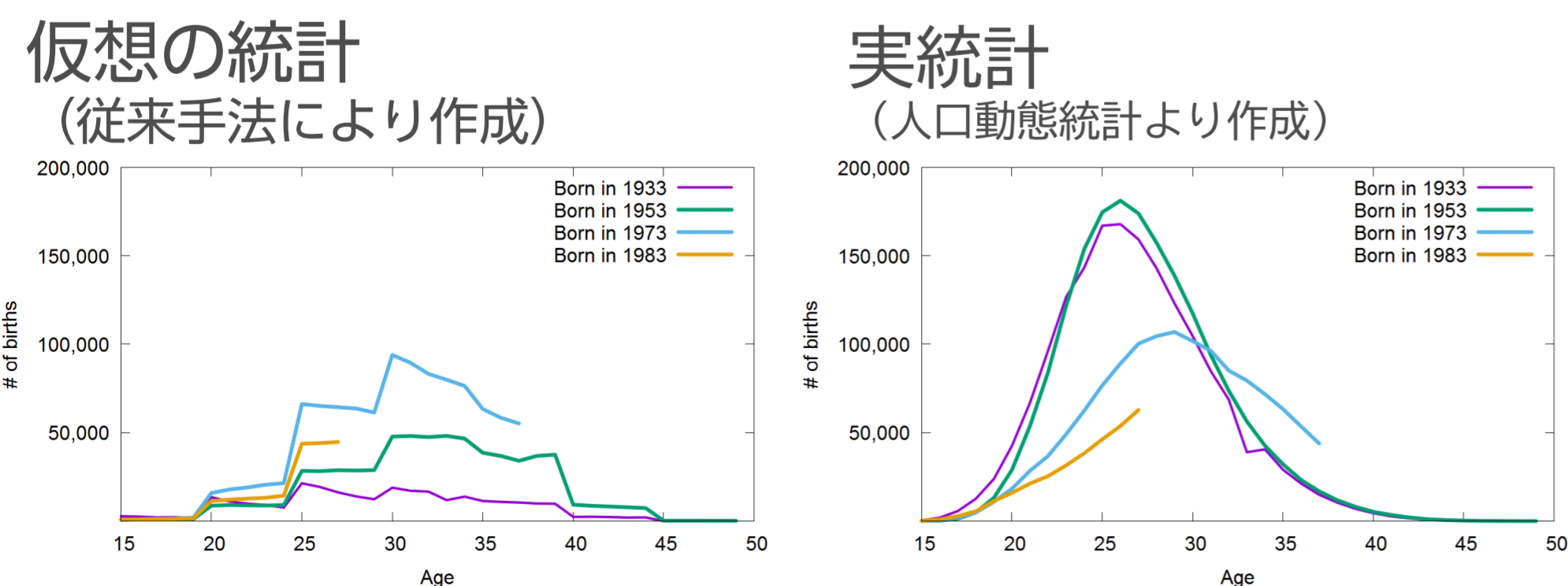


## 仮想個票の一例



## 従来手法の課題と提案手法

課題：ある年度に出生した子と親の年齢差の統計をすべての子と親に適用



本研究：親の生年別，出生時の親の年齢別，出生数の統計表との差を最小化  
統計表の粒度により日本全国を一度に合成  
計算に約8か月必要

## 仮想個票の活用先

- AEDの最適配置の検討  
AEDがカバーしている人口の算出  
新たな配置場所の検討
- 震災復興支援の検討  
現在：経験則の理解  
地域の特徴を考慮した検討
- 災害時の医療部隊派遣場所の検討  
より現実的な要救助者数の推計  
医療需要の算出が可能
- 仮想個票ベースの人口動態